昭和63年３月20日
昭和63年度
予算案特集

市報
にいがた

発行日 毎週日曜日　発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-866　編集 企画部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口（２月末現在）
人口 472,196人
男 229,465人
女 242,731人
世帯数 156,136世帯

まちづくりに向けて積極型予算
大型プロジェクトを更に推進

市では、現在開会中の三月定例市議会に総額千百二十六億五千万円に上る六十三年度一般会計当初予算など四十四議案を提案しています。今回の予算編成の柱となったのは①都市基盤の整備、大型プロジェクトの推進②福祉と健康③地域産業・経済の活性化④教育文化の向上⑤国際化――の五点に力点を置いています。歳入面では引き続き国庫補助金の削減が続く厳しい財政事情にありますが、都市づくりや大型プロジェクトの推進を重点施策として取り組むなど、予算額は前年度当初に比べ一〇・二％増という九年ぶりの二ケタ台の伸びで、将来の都市づくりを目指した「積極型予算」となっています。この特集号では若杉市長の施政方針演説を一面に、第三次総合計画の「五つの都市像」別に見た新年度事業の概要を一～四面で紹介します。

若杉市長の施政方針演説要旨

私はこれまで、私の市政運営の基本理念であります「一人と人とのふれあいを大切にした、市民参加による市民生活優先の市政」、いわば「人間都市の創造」に向けて、いくつかの施策を進めてきました。

わが新潟市は、市民の皆さんのたくましい努力により年々発展を遂げつつあり、新幹線の開通を契機として、関越、北陸自動車道、東北横断自動車道の進捗により、高速交通体系も着々と整備されつつありますが、こうした現状のなかで、本市を取り巻く諸情勢を考えるとき、日本海側の中枢都市として、将来に向けた活力のある、快適な都市づくりを進めるためには、交通体系の確立、市街地の整備などといった面で、まだまだ整備の必要なものもあり、今後とも一層の努力が必要であると痛感しているところです。

私は、引き続き、都市基盤の整備と大型プロジェクトの推進を重点施策として、市政運営の中心に据え、より以上の推進を図っていきたいと思っています。

万代橋下流連絡路、新潟空港整備計画の事業促進を

まず、将来の都市づくりといった面では、現在、国や県において、万代橋下流連絡路計画、新潟港整備計画など、本市の将来を左右するような大きな事業が、既に実施され、また計画されようとしており、これらの事業を促進するとともに、市としてやるべきことを着実に前進させていきます。

特に、万代橋下流連絡路の二つのルートのうち「万代島ルート」については、六十三年度、都市計画決定に持ち込みたいと考えています。

そのほか、引き続き、新潟駅周辺の鉄道の高架化を構想した駅周辺地域計画を推進していくとともに、このたびは新たに、空港滑走路の延長及び周辺地区の開発を展望した新潟空港周辺の整備計画に着手していきます。また鳥屋野潟南西部に新しいまちづくりを進めるため、県と共同して、その総合開発計画を策定するほか、万代橋上流橋についても、その構想を立てていくなど、今後の都市整備に係る重要な調査を促進することとして、所要の措置を講じました。

3月議会で施政方針を述べる若杉市長

健康で生きがいのある福祉社会を

私は就任以来、「福祉と健康」を、常に、重点施策の基軸として掲げ、可能な限りの努力をしてきたところであり、健康で生きがいのあるまちづくりを進めるため、お年寄りや子供たち、又は障害をもった方々に対しても、きめ細かい配慮をしながら、努力を傾注してきたところです。これからも、より一層の推進を図っていきたいと考えています。

中小企業融資制度を充実、拡大

昨年四月オープンした産業振興センターは、見本市や展示会はもとより、各種イベントなどにも多くの利用をいただき、大きな成果をあげているところであり、今後とも、一層地域の活性化に役立つよう意欲的な運営を期待しています。

さて、厳しい経済環境のなかにあって、努力され、耐え抜いておられる中小零細企業の皆様には、深く敬意を表するところであり、市としても、融資制度の充実、拡大に努めるなどできる限りの配慮をしたところです。

教育・文化の向上に努力

子供たちが、明るく元気に勉学に励むことができる環境を整えることは、市政を預かる者の重要な責務であり、私も、常日ごろ、後世の新潟市を担う子供たちが、豊かな、やさしいこころを持った、しかも国際文化都市にふさわしい人間として成長出来るよう微力を傾けていきたいと思っているところです。

国際都市新潟を目指して

五月十五日から、本市において第九回アジア卓球選手権大会が開催されます。日本海側における初の国際的な大会であり、市民のご理解とご協力をいただきながら、ぜひともこの大会を成功させて、国際都市新潟の名をあげていきたいと考えています。また、姉妹友好都市との交流では、新年度は、友好十周年記念事業として、ハルビン市に日本庭園を建設するための寄附を行うなど、より一層の促進にも努めます。さらに、日本海シンポジウムや日本海圏国際フォーラムといった国際会議が本市で開催されます。

また、市制施行百周年を迎えるに当り、市庁舎、水族館などといった記念施設の建設にあたり、女性の意識と生活実態をまとめた「新潟の女性の実情」の冊子や女性行動計画の概要説明書を発行します。

また、国内交流、国際交流を通じて女性問題の啓発を図っていきます。一方、九月十八日開催の「第四回女性大会」については、分科会を増やすなど充実に努めます。

新潟東警察署移転跡地（東万代町）に建てる複合施設の中に、女性センターとコミュニティーセンターの設置を予定していますが、新年度は女性センターの規模や機能、運営方法などについて調査研究を行います。

64年完成の新庁舎に芸術作品を配置

六十四年夏の完成を目指して建設中の新庁舎（地下二階地上六階一部七階）は、芸術作品を設置し、建物の文化性を高め、国際文化都市にふさわしい市庁舎とします。一億円を投じて、庁舎前庭と市民ホールに彫刻、市民ロビー前に壁画、エレベーターわきにモビール（動く彫刻）を設置します。壁画については、市民参加の一環として、原画を一般公募します。

また、新庁舎の駐車場用地としてBSN美術館跡地を取得するほか、新庁舎敷地隣接道路用地も取得します。

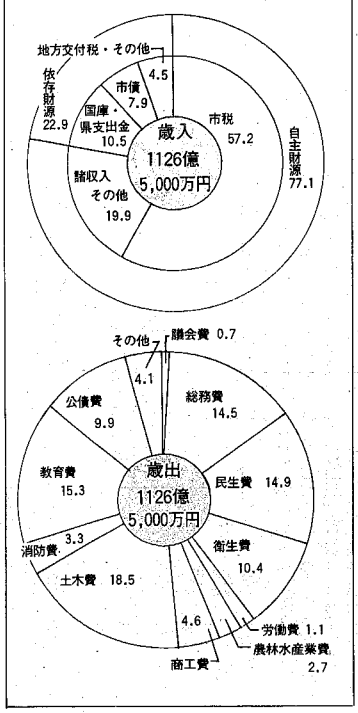
OA機器を導入し事務効率化を推進

事務の電算化としては、新たに国民年金、保育料、児童手当、清掃手数料、下水道受益者負担金の五つのシステムを開発します。OA（オフィス・オートメーション）化推進事業としては、パーソナルコンピューターを二十二台増設し、事務処理の効率化、簡素化を図ります。

市民課業務の効率化のためファクシミリの更新を行うほか、六十二年度に四連絡所に導入したファクシミリをさらに七連絡所にも設置します。

また、新庁舎への六十四年度移転を機に、戸籍の保管方法をバインダーにとじる方式から、ファイル化し電動回転保管庫に収納する方式に切り替えるための準備作業に入ります。

一般会計予算の内訳（単位は％）



「市制100周年を祝う市民の集い」を
市民の手で企画運営

ふれあいと連帯
市民主体都市

市民参加については、六十四年の市制施行百周年に向けて、「市民の集い企画委員会」を設け、「市制百周年を祝う市民の集い」などのイベントの具体的な企画と準備作業を行ってもらいます。また、記念事業の一つとして市民憲章の制定作業も行います。

女性センターを東警察署跡地に設置

昨年９月に開催された「第３回女性大会」

女性行動計画推進の初年度にあたり、女性の意識と生活実態をまとめた「新潟の女性の実情」の冊子や女性行動計画の概要説明書を発行します。

また、国内交流、国際交流を通じて女性問題の啓発を図っていきます。一方、九月十八日開催の「第四回女性大会」については、分科会を増やすなど充実に努めます。

新潟東警察署移転跡地（東万代町）に建てる複合施設の中に、女性センターとコミュニティーセンターの設置を予定していますが、新年度は女性センターの規模や機能、運営方法などについて調査研究を行います。

64年完成の新庁舎に芸術作品を配置

六十四年夏の完成を目指して建設中の新庁舎（地下二階地上六階一部七階）は、芸術作品を設置し、建物の文化性を高め、国際文化都市にふさわしい市庁舎とします。一億円を投じて、庁舎前庭と市民ホールに彫刻、市民ロビー前に壁画、エレベーターわきにモビール（動く彫刻）を設置します。壁画については、市民参加の一環として、原画を一般公募します。

また、新庁舎の駐車場用地としてBSN美術館跡地を取得するほか、新庁舎敷地隣接道路用地も取得します。

組織改正

下水道部を新設

多様化する市民の行政需要に応え、都市環境の充実を図り、今後の事業の執行体制を見直しながら、下水道事業の強化に対処するため、下水道部を土木部から分離新設し、３課体制とするほか、道路行政や西港湾周辺整備対策あるいは文化行政などの充実を図るため、必要課を分離又は新設します。また、業務の基本的な部分の見通しがついた市庁舎建設室は総務部へ吸収するなど、事業の執行に即応できる体制づくりを図ります。